

月刊

美容界

今がわかる明日が読める

2004
NO.497

美容師の社会奉仕活動が活発化

美容師600人が
渋谷の街でゴミ拾い

REQUEST QJの発行元である(株)セイフアート(長谷川高志社長)は、人々の笑顔を世界中に広める運動を展開しているMERRYとのコラボレーションから、12月2日(火)、「MERRY&REQUEST QJ」をテーマにしたプロジェクトを実施。同社の呼びかけにより約600名の美容師が渋谷の街に集結した。

「MERRY」とはグラフィックデザインの第一人者であるアートディレクター・水谷孝次氏が、街に活気をもたらす笑顔のコミュニケーションアートを展開する目的で立ち上げたプロジェクトで、これまで震災後の神戸、テロ1年後のニューヨーク、不況で落胆気味の東京等で、展覧会の開催やフリーペーパーの発行などを行ってきた。「ゴミ拾いプロジェクト」は今年からスタートした運動で、「街」そのものが持つ「すっぴん」

の美しさを再発見しようとのテーマで、アート活動と並行して国内のみならず世界各所で行なっている。

今回、セイフアートのスタッフがMERRYメンバーと意気投合したことから、トントン拍子で話が進み、同社が美容師の運動参加を呼びかける窓口となった。

当日は青空の広がる絶好のゴミ拾い日和。午後1時に参加者が東京・渋谷区のSHIBUYA@FUTURE (mailto:SHIBUYA@FUTURE) カフェ内スカフェ内の広場に集合、20チームに分かれてそれぞれの分担地域に向かった。「MERRY」のロゴの入った白いシャツを身につけた参加者は、ゴミ袋や清掃用具を手に約2時間ほど各々がクリーン作戦に没頭、道行く人の興味を誘っていた。

同プロジェクトにはビュートリアムの川畑タケル氏も参加、運動終了後「今日は街をきれいにしてきました、人をきれいにする仕事

の方もがんばりましょう」と参加者へ激励の言葉を贈った。なお今回、一般企業17社の他、美容室27社の協賛もあった。



一仕事を終え、清々しい表情



渋谷センター街のゴミ拾いに勤しむ参加者



ゴミ拾いプロジェクトの趣旨を説明する(株)セイフアート・長谷川社長